

# 奉天ヤマトホテル新築工事概要

11-5

位置 奉天大廣場

様式 復興式

坪數

本館建 輝

地階 二、五九七坪四一一

本階 二、三六二坪〇三六

中二階 五〇坪六〇〇

一階 一、七二七坪〇一三

二階 一、八〇七坪一三六

三階 二、三八坪一九六

四階 九九坪三二五

合計 八、八七一坪七一七

機關室建坪 二九三坪一一九

一階 二九三坪一一九

二階 四八坪三〇〇

合計 三四一坪四二九

## 各室配置

地階 階段室、事務室、貯藏品倉庫、理髮室、グリル・ル

ーム、公衆便所、待合室、料理室、製菓室、冷蔵庫、

## 構造

四階 タンク室、エレベーター室。

三階 階段室、エレベーターホール、受付、公衆便所、配膳室等。

二階 客室、應接室、階段室、エレベーターホール、フロアークラーク詰所、公衆便所。

一階 客室、應接室、階段室、エレベーターホール、フロアークラーク詰所、公衆便所、浴室、日本風客室、日本式浴室、化粧室、公衆便所、フロア

中二階 オークストラ室

一階 階段室、エレベーターホール、應接室、客室(浴室、便所押入附)、特甲客應接室、同控室、同寢室、日本風客室、日本式浴室、化粧室、公衆便所、フロア

中二階 オークストラ室

一階 階段室、エレベーターホール、應接室、客室(浴室、便所押入附)、特甲客應接室、同控室、同寢室、日本風客室、日本式浴室、化粧室、公衆便所、フロア

中二階 オークストラ室

一階 階段室、エレベーターホール、應接室、客室(浴室、便所押入附)、特甲客應接室、同控室、同寢室、日本風客室、日本式浴室、化粧室、公衆便所、フロア

中二階 オークストラ室

一階 階段室、エレベーターホール、應接室、客室(浴室、便所押入附)、特甲客應接室、同控室、同寢室、日本風客室、日本式浴室、化粧室、公衆便所、フロア

中二階 オークストラ室

一階 階段室、エレベーターホール、應接室、客室(浴室、便所押入附)、特甲客應接室、同控室、同寢室、日本風客室、日本式浴室、化粧室、公衆便所、フロア

音樂練習室、從事員食堂、同休憩室、同浴室、同便所、トランク室、ロッカー室、倉庫、蓄電池室、リネン室等。

礎 砂地なるを以て地盤線より深さ五尺掘下げ鐵筋コン

クリート基礎とす。

主 體 鐵筋コンクリート造幕壁煉瓦積。

間 仕 切 煉 瓦 積

仕 上

外 装 根石、窓臺石、バラペット笠石及玄關廻り花崗石、

腰廻り(本階窓臺石迄)及バラペット等人造石小叩仕

上げ、其他擬石タイル張り。

屋 根 鐵筋コンクリートの上にホロトタイル敷き防水層及

びシンダーコンクリート打セメントタイル敷き。

床 鐵筋コンクリートの上にシンダーコンクリート打。

客室は板張り、食堂、待合室、大廣間、球突室、應

接室等は寄木張り。玄關廣間、各階廊下、エレベー

ターホール、便所、浴室等は獨逸モザイクタイル張

り。地下室、待合室、グリルルーム、同廣間等は橋

頭産スレートタイル張り。料理室、製菓室等はセメ

ントタイル張り、其他石張り、エンコスチツクタイ

ル張り、木煉瓦張り及モルタル塗り。

中 木 玄關廣間、各廊下、大理石、其他主要の室はラワン

材、客室其他米松材。

腰 羽 目 玄關廣間旬雅堂タイル張り、讀書室及中食堂緞子張

り、球突室、カー下室、大食堂、大廣間、特甲各室

等羽目板張りワニス塗り、料理室、製菓室、便所等

壁 一般漆喰塗りの上に水性色ペンキ塗り、特甲各室、

支那式待合室、中食堂緞子張り、二階應接室壁紙張

り、料理室、製菓室等タイル張り。

天 井 ダイヤモンドリプラス張り漆喰塗り、水性ペイント

塗り仕上げ、玄關廣間、中食堂、特甲應接室等、石

膏彫刻附、其他水性ペンキ繪模様附。

窓 及 入 口 主要室はラワン材製ワニス塗り、其他米松材製ペン

キ塗り、エールタウン會社製ロツク、スタンレー蝶

番、其他舶來金物附、一部スチールサツシュ、ステ

ィンドグラス使用。

一般窓硝子は三十六オンス板使用。

階 段 鐵筋コンクリート造大理石張り、踏面中央部ゴムタ

イル張り、手摺眞鍮製ブロンズ鍍金、笠木チーク材

ワニス塗り。

カウンター 總大理石造。

庇 鐵骨造、田中式スカイライトバー使用、軒廻り銅板

製。

機關室裝置 獨立汽罐室内にあり給湯用汽罐と共通。汽罐はブデラス

ローラー十一臺。

暖房裝置 各室は温水式、其他は蒸氣暖房裝置とす。  
給湯裝置 低壓汽罐より蒸氣を受けて加熱するパターンソントンク三

基を備へ、之より循環ポンプにて各洗面所、手洗所、浴槽、料理室等に送る。

給水装置 市街上水道より供給を受け又自家用井戸より揚水し得る装置とす。

消火栓 消火栓を各室主要の箇所に設け、消火ポンプを設備す。

衛生装置 主要器具はクレイトン會社製とし、公衆便所にはアメリカンエーヤドライコーポレーション會社製エーヤドライを設く。

排氣装置 大食堂、大廣間、料理室等は機械的換氣法を用ひ、其他は自然換氣法とし何れも風道に依り屋上に排氣す。

冷蔵装置 冷蔵機械はサプロ會社製にして冷能力六噸。

電氣装置 市街幹線より高壓にて引込み變電して使用す。變壓機五十キロ五臺。

電話器は自動式シーメンス式採用。

瓦斯装置 料理室及製菓室は専ら瓦斯を使用す。

昇降機及リフト装置

客用昇降機 二臺 九百疋 毎分六十米

従事員用同 同 同

ダムエーター 同 二百疋 毎分二十五米

何れもエービーシー會社製

起 工 昭和二年四月一日

竣 工 同 四年四月二十日

設計監督者 建築 工事 小野木横井共同建築事務所

煖房及衛生 工事 滿鐵建築課機械係

電氣 工事 滿鐵鐵道部電氣課

施工請負者 合資會社清水組

煖房衛生 工事 勝本商會

電氣 工事 北川工務所

編輯子曰ふ

奉天ヤマトホテルは遼東ホテルの商業的なるに對して國際的であつて社交俱樂部的の意味が多量に含まれてゐる様に思はれます。又敷地の都市的意義に於ても全然違つてゐます。従つて遼東ホテルとは同じホテルであつても外觀、内容共に根本的に行方が違つてゐます。材料及施工では特に優れてゐる點は見出せませんが、地方産のタイル類(即ち甸雅堂製及び橋頭産のもの等)、大理石などを可成潤澤に使用し、又支那趣味を適度に取入れてゐる點は、比較的高級な家具が潤澤に配置された點、照明、其の他の電氣的施設、煖房、換氣、衛生等の諸施設の完備と相待つて、奉天に立つ國際ホテルといふ氣分の發露に努力された跡を見るこゝとが出来ます。

一般の感じとして支關廣間から、大集會室其の他一般に落付き過ぎたとも思はるゝ調子のところに、シャンデリヤ、其の他の照明器具等によつてグット其の調子が引立てられてゐます。

總じてホテル建築は内面的には、どこまでも清新の氣分を尙びますが、それと同時に或る程度の落付きが必要であります。即ち社交的の立場からは或る華やかさが要求され、刺戟的な事務的業務的の疲勞に對する休息慰安の場所としては充分落付かれるものであることが必要でありませう。更に又清潔の上に徹底することとはホテルとしての極めて重大な要件であります。之れには比較的汚れ易い箇所に對する材料、性質、色調等に關しその選擇に大いに考慮を要することと思ひます。是等の諸點から見て、此のホテルの内部的の出来ばへは外部のそれに比べて遙かに成功してゐると稱すべきでありませう。

# 遼東ホテル新築工事概要

位 置 大連市大山通十七、十九、二十一、二十三及浪速町九十三番地(大山通り、浪速町交叉點角)

一 建築物の高さ 八十八尺(但し浪速町、大山通角扶欄上端迄)

一 敷地坪數 四百九十八坪六合八勺

一 各室配置

一 建坪數 四百四十六坪六合五勺

地階 理髮室及同附屬室、ロシヤ料理食堂及同上料理室、倉庫、日本料理室及同上倉庫、支那料理附屬倉庫、食器室及同上倉庫、百貨店々員用更衣室、交換器室、配電室、トランク室(二)、ホテル従事員用浴室及便所、百貨店客用便所、ボイラー室及同上係員室、石炭庫。

一 總延坪數 二千九百九十三坪二合

内 譯

地階 四六八・五三坪

第一階 四四六・六五坪

第一階 ホテル使用の部

中二階 一〇二・一六坪

第二階 三八七・六三坪

玄關(廻轉扉使用)、應接室、事務室、支配人室、社長室兼事務室、階段及昇降器室、化粧室。

第三階 三七九・二四坪

第四階 三六九・一四坪

百貨店使用の部。  
玄關(廻轉扉使用)、百貨店賣場、商品陳列窓、簡易食堂及同上料理室。

第五階 三五八・八二坪

第六階 三五六・五八坪

中二階 中二階應接室、第一及第二合宿室、宿直室、裁縫室、電話交換室、同交換機室、便所及手洗。

第七階 九〇・七八坪

第八階 三三三・六七坪

第二階 フロアックラック、應接室、和風客室(洋風應接間附)八室、和風客間十二室、配膳室、女中室、客用浴室、化粧室、乾燥室、物置。

一 建築工事費 大約五十九萬八千圓

一 起工 昭和三年十月

一 竣工 昭和五年九月

第三階 フロアックラック、應接室、貴賓室、和風客室(復室)四

室、和風客室(洋風應接間附)二室、和風客室(單室)七室、洋風客室五室(内二室は浴室を有す)、配膳室、女中室、客用浴室、化粧室、物置。

#### 第四階

フロアアクリック、應接室(二室)、洋風客室(應接室及浴室附)二室、洋風客室(浴室附)二室、洋風客室(單室)十七室、配膳室、従事員休憩室、美容院及茶室。

#### 第五階

フロアアクリック、應接室二室、和風客室(單室)二十四室、洋風客室五室、配膳室、女中室、豫備室、客用浴室及化粧室、物置。

#### 第六階

應接室(現在ホテル専用食堂に使用す)、洋風大食堂、(舞臺を有す)、同上附屬配膳室及準備室、支那料理大食堂、同上中食堂、同上待合室、同上カウンター及附屬料理室及物置、客用化粧室。

#### 第七階

支那料理室、昇降器廣間、化粧室、屋上園(バーゴラにて掩はれ、且稻荷鎮座す)。

#### 第八階

タンク室、溫室、機械室。

一 構造の概要 鐵筋コンクリート幕壁煉瓦造(但し一階床のみは

平版式床を採用せり)。

一 外部仕上げ 大山通、浪速町に面せる壁面は、カットタイル貼

附仕上、庇上部蛇腹、一階柱型、屋上扶欄及圓形

窓縁は中村グラニット使用、背面、リソイド凝石

塗仕上。

#### 一 内部仕上

ホテル玄關廣間、貴賓室、應接室の或る部分はク  
ンネット塗仕上、その他は大部分スタツコ水性塗料  
又はペイント仕上、壁紙、ペイント繪模様にて装  
飾す。

#### 一 屋根構造

陸屋根、セメント・タイル張り、一部グラベル・  
ルーフキング。

#### 一 主要出入口

ホテルの部  
廻轉扉一箇、兩開扉一箇  
百貨店の部

#### 一 昇降器

廻轉扉一箇、兩開扉二箇  
客用機、二臺 100 ft/min.  
従事員甲機一臺 100 ft/min.

#### 一 給水設備

水道本管より直接四吋パイプにて引き込み、三階  
迄給水、四階以上は、屋上に、ハウス・タンクを  
設け、之より給水す。尚浴場、料理室等の如きは、  
地下室井戸より一旦屋上雜用水ハウス・タンクに  
導き之より給水す。

#### 一 給湯設備

ポイラー室に、ストウレージ・ヒーター・タンク  
二箇を設備し、之を低壓蒸汽罐にて間接湯沸し  
を爲し、各室及各客室の浴槽及洗面所に給湯し、  
別に高壓ポイラーによりサイレンサーにて各階の  
共同浴槽に直接湯沸しをなす。